



2020年1月29日(金)

2年生のゴールまで、あと2か月を切りました

なんと2年生としての登校日は、残り37日。どのクラスにもクラス独特の雰囲気や漂っていて、みなさんのリラックスした表情から居心地の良さを感じられます。こんなクラスを作ることができるみなさんは、そんな社会を創る大人へと変わっていくでしょうね。「世界がもし100人の村だったら」では、自分の生活が普通ではなく、様々な環境で生きている人がいること・たくさんの言語や思想があり、世界にはたくさんの普通や当たり前の形があることを知りました。地球全体で抱えている課題にぶち当たり、日本人として、また地球人としての自分の生き方について考えました。そして、SDGs(持続可能な開発目標)について学んでいこうとしています。導いてもらう存在から、自分で生きる道を選びとっていこうとしている今、希望もあれば、漠然とした不安や悩みもあるでしょう。3年生の先輩たちを見ながら「来年は自分たちの番だ…」と思うと、気持ちが引き締まりますよね。自信を持って未来を選び取れる人になりたい。その気持ちを応援します。自信をつけるためには、目に見えるゴールを設定し「できた!」を積み上げていくことが必要です。毎日の授業・小テスト・学活や総合の時間なども含めて、しっかりと向き合い「できた!」を積み上げてください。SDGsの17番目の項目は何ですか?「パートナーシップで目標を達成しよう」です。クラス全員で、学年全体で、「おまもり」を達成しようとするのが、確実に私たちの明るい未来へと繋がっているんだと思います。学年末テストは3月1日・2日です。これも視野に入れておきましょう。



SDGsについて考え、感じたことをまとめてもらいました。いろいろなことに気づき、考えてくれた人がたくさんいて、こういう人たちが未来が築かれていくんだなあ、と思うと、果てしない希望にわくわくします。冬休みの課題であった3年生への「送る言葉」もぎっしり書いてくれて、「ありがとう」をたくさん持っているみなさんと一緒に過ごせる日々がよいとおしくなりました。

誰かのことを考えることは、誰かに考えてもらえるということです。たくさんの人々のことを考えるということは、たくさんの人に守ってもらえるということです。優しい人たちに囲まれて、私たちはいます。ぎりぎりの中、みんなと過ごせるのはとても大切な日常です。人の優しさに気づき、大事にできる人でいてください。

